



2026 年 9 月 14 日

各 位

会社名 株式会社 CINC
代表者名 代表取締役社長 石松 友典
(コード番号：4378 東証グロース)
問合せ先 経営管理本部本部長 岡崎 俊亮
(TEL：03-6822-3601)

連結子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）及び連結子会社への 債権放棄、並びに連結決算から単体決算への移行に関するお知らせ

当社は、2026 年 9 月 14 日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社 CINC Capital（以下「CINC Capital」という。）を吸収合併（以下「本合併」という。）すること及び本合併の決議にあたり、CINC Capital に対して有する債権の一部を放棄することを決議いたしました。また、本合併に伴い連結決算から単体決算へ移行することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本合併は、完全子会社を対象とする簡易合併・略式合併であるため、開示事項・内容を一部省略して開示しております。

記

1. 本合併及び単体決算移行の目的

当社は、グループ経営の効率化、意思決定の迅速化、及び管理コストの削減を図るため、完全子会社である CINC Capital の事業を当社本体へ統合・整理することといたしました。本合併により当社の連結子会社が存在しなくなるため、効力発生日（2026 年 11 月 1 日）以降は、連結財務諸表に代わり単体財務諸表による開示へ移行いたします。

2. 本合併の要領

(1) 本合併のスケジュール

合併承認取締役会	2026 年 9 月 14 日
合併契約締結日	2026 年 9 月 14 日
合併効力発生日	2026 年 11 月 1 日（予定）

(注) 本合併は、当社においては会社法第 796 条第 2 項に基づく簡易合併であり、CINC Capital においては会社法第 784 条第 1 項に基づく略式合併であるため、当社および CINC Capital において合併契約の承認に関する株主総会を開催することなく行います。

(2) 本合併の方式

当社を吸収合併存続会社、CINC Capital を吸収合併消滅会社とする吸収合併で、CINC Capital は解散いたします。なお、現在において、会社法第 795 条第 2 項第 1 号に定める当社の承継債務額は承継資産額を超えており、その状態を合併までに解消することが困難であると見込んでおります。そのため、本合併に先立ち、当社が CINC Capital に対して有する債権を放棄し、債務超過状態を解消した後に合併を行う予定です。

(3) 本合併に係る割当ての内容

当社の完全子会社との吸収合併であるため、本合併による株式の発行及び金銭等の交付・割当てはありません。

(4) 本合併に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 当事会社の概要

	吸収合併存続会社	吸収合併消滅会社
(1) 商号	株式会社 CINC	株式会社 CINC Capital
(2) 所在地	東京都港区虎ノ門一丁目 21 番 19 号	東京都港区虎ノ門一丁目 21 番 19 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 石松 友典	代表取締役社長 石松 友典
(4) 事業内容	コンサルティング事業 ・ SaaS 事業等	M&A アドバイザリー事業等
(5) 資本金	10 百万円	10 百万円
(6) 設立年月日	2014 年 4 月 1 日	2024 年 11 月 1 日
(7) 発行済株式数	3,432,865 株	1,000 株
(8) 決算期	10 月 31 日	10 月 31 日
(9) 大株主及び持株比率	石松友典 30.9% 株式会社 CZ 27.3%	株式会社 CINC 100%
(10) 直前事業年度の経営成績及び財政状態		
決算期	2025 年 10 月期（連結）	2025 年 10 月期（単体）
純資産	1,055 百万円	△214 百万円
総資産	1,380 百万円	49 百万円
1 株当たり純資産	368.64 円	△214.03 円
売上高	1,824 百万円	0 円
営業利益	△112 百万円	△222 百万円
経常利益	△106 百万円	△223 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	△152 百万円	△227 百万円
1 株当たり当期純利益	△49.93 円	△22.76 円

4. 本合併後の状況（存続会社）

本合併による当社の商号、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期の変更はありません。

5. 連結決算から単体決算への移行に関する開示方針

本合併の効力発生日（2026年11月1日）以降、当社は連結子会社を有しないこととなります。これに伴い、2027年10月期（第1四半期）決算発表より、開示形式を従来の連結決算から単体決算へ移行いたします。

6. 今後の見通し及び業績への影響

本合併は、当社の100%連結子会社との合併であるため、グループ全体の連結業績に与える影響は軽微であります。なお、本合併手続（事前措置としてのCINC Capitalに対する貸付金の債務免除等）に伴い、当社の単体決算において特別損失の計上等が生じる可能性がございますが、これらが当期の業績予想に重大な影響を与えることが判明した場合には、速やかに公表いたします。

以上